

医学研究に関する情報公開および 研究協力へのお願い

福井大学医学部附属病院血液・腫瘍内科では、医学系研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の医学研究を実施しています。

こうした研究では、対象となる方に関して既に存在する試料や情報、あるいは今後の情報や記録などを調査しますが、対象となる方にとって新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

このような研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

ご自身の情報や試料を研究に使用してほしくないという場合や利用目的の詳細など研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」へご照会ください。研究への参加を希望されない場合、研究結果の公表前であれば、研究期間内にご連絡いただいた時点より対象から除外いたします。なお研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありませんのでご安心ください。

福井大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科

【研究課題名】

高齢者急性骨髄性白血病における寛解導入療法の強度が予後に及ぼす影響についての検討

【研究期間】

平成 29 年 10 月 18 日～平成 29 年 12 月 31 日

【研究の意義・目的】

急性骨髄性白血病においては、初回の寛解導入化学療法は非常に重要な位置を占めており、その治療強度は後の予後に大きく影響することが知られています。しかし、65歳以上の高齢急性骨髄性白血病においては、標準治療として確立された治療法が報告されていません。本研究では、高齢の急性骨髄性白血病に対する寛解導入療法の強度が予後に及ぼす影響について解析を行います。

【研究の内容】

1. 研究の対象となる方

65歳以上の急性骨髄性白血病で、2001年から2015年の間に、当院で入院治療を受けた方。

2. 研究に用いる試料・情報

性別、生年月日、身長、体重、performance status(寝たきり度)、急性骨髄性白血病のFAB分類、染色体検査異常、初回寛解導入療法の内容、治療開始日、治療効果判定、再発の有無、死亡の有無。

3. 研究の方法

電子カルテ上のデータを表計算ソフトでまとめ、統計学的手法を用いて解析を行います。

【利益相反について】

利益相反とは、外部との経済的な利益関係(資金提供など)によって、研究データの改ざん、特定企業の優遇など研究が公正かつ適切に行われていないのではないか(企業に有利な結果しか公表されないのではないか)と第三者から懸念されかねない事態のことをいいます。

この研究は、特定の企業や団体から研究資金や給与・謝金など、特別な便宜を受けていないことを福井大学臨床研究利益相反審査委員会に全て報告し、利益相反状態でないと判定されています。研究を公正に遂行し、対象となる方に不利益になることや、研究結果を歪めることは一切いたしません。

【研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手・閲覧方法】

本研究では、研究計画書及び研究の方法に関する資料に関しては、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限り入手又は閲覧が可能です。その入手・閲覧をご希望される際には下記「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。

【個人情報の開示等に関する手続き】

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

《福井大学における個人情報保護について》

http://www.u-fukui.ac.jp/cont_about/corporate/privacy/

【本学における研究責任者】

血液・腫瘍内科 医員 藤田 慧

【本研究に関する問い合わせ窓口など】

○問い合わせ窓口

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3

研究代表者 福井大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科 藤田 慧

電話：0776-61-3111 Fax：0776-61-8109

E-mail：kfujita@u-fukui.ac.jp

○ご意見・苦情窓口

〒910-1193

福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3

福井大学医学部附属病院医学研究支援センター

電話：0776-61-8529

受付時間：平日 8:30～17:15(年末年始、祝・祭日除く)